

第12回農業女子プロジェクト 推進会議

2023.11.24

- ✓ 本日の会議は録画させていただきますので、予めご了承ください。
- ✓ (オンライン参加の皆様)回線状況等により、接続が切れることがあります。再起動の後、同一アドレスからご入場ください。
- ✓ 発表、発言以外では、カメラオフ、ミュートにしてお聞きください。意見交換の際には、カメラオンにしてご参加ください。

農業女子プロジェクト10周年を記念して、
設立当初から参画し、この10年間、女性農業者の活躍
に貢献していただいた7社の企業の皆様に、
農林水産大臣宮下一郎からの感謝状を授与いたします

第1期(2013.11～)からの参画企業7社

井関農機株式会社

女性が使いやすいトラクタ、耕耘機、草刈り機を開発



サカタのタネ株式会社

農業女子がお勧めする野菜品種をシリーズ化



ダイハツ工業株式会社

女性目線の軽トラック（UVカットガラス等）を開発



株式会社タニタ

丸の内タニタ食堂での農業女子の生産物を使ったメニュー提供



株式会社丸山製作所

女性が使いやすい草刈り機や動力噴霧機を開発



株式会社モンベル

機能素材を使い農作業に適したつなぎ、レインウェア、クールパーカーを女性目線で開発



株式会社三越伊勢丹

農業女子の生産物を使った中元・お歳暮のギフト商品の販売、店舗イベントでの農業女子の出店



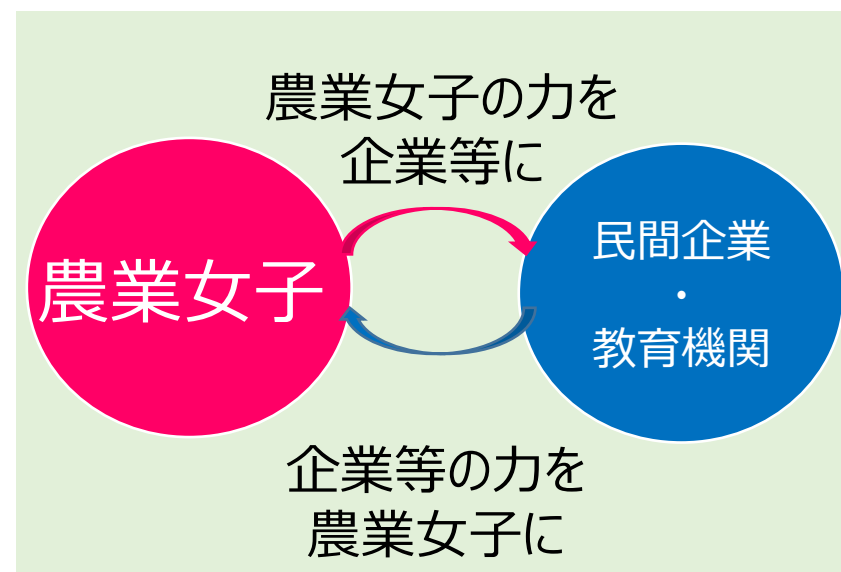
- ◆ 女性農業者の知恵を様々な企業の技術、ノウハウ、アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信。
- ◆ プロジェクトを通して、**社会全体での女性農業者の存在感**を高め、**経営力の向上**を図り、**職業としての農業を選択する若手女性の増加**をめざす。

個別プロジェクトの推進

企業と女性農業者が協同で、新たな商品やサービス等を開発。農業女子の持つ3つのチカラ「生産力」「知恵力」「市場力」が発揮。

プロジェクトの広報活動

個別プロジェクトの進捗状況、イベントの開催等のプロジェクトの活動を発信 等

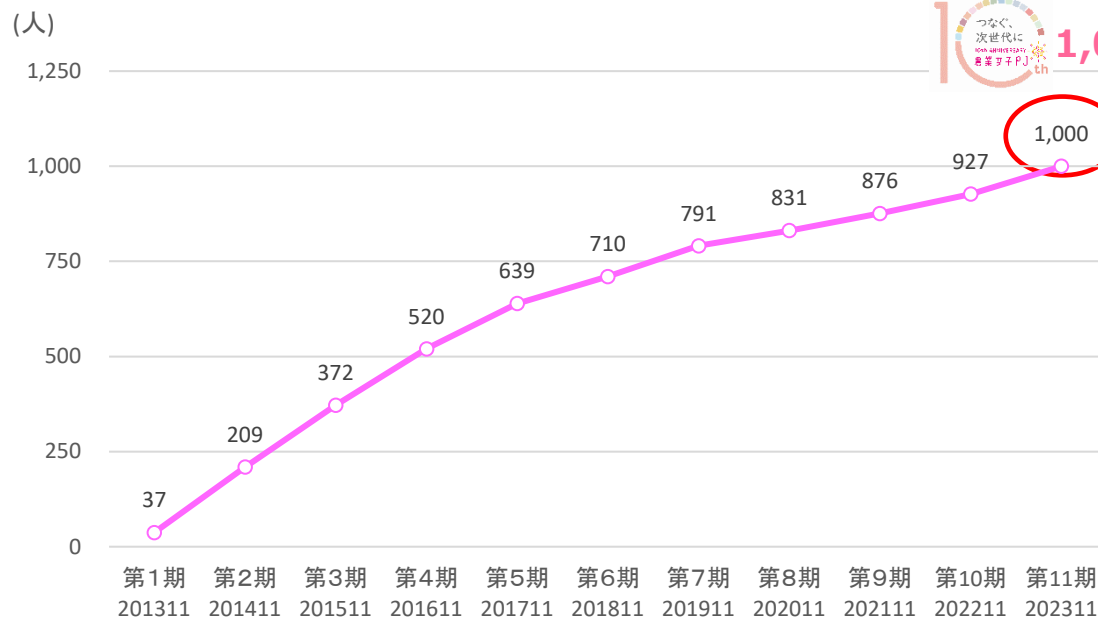


広く社会に発信

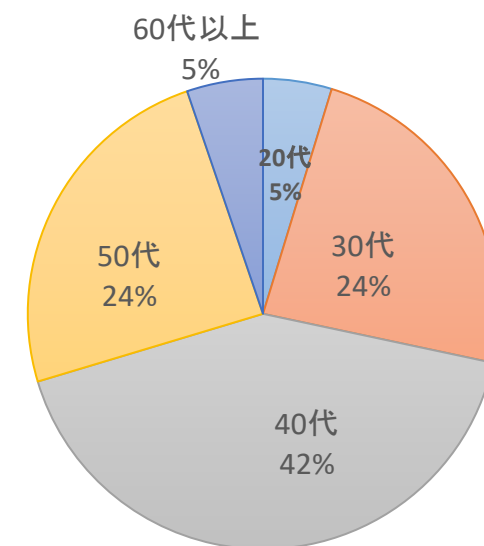
女性農業者の存在感を高める、企業連携によるビジネス発展、女性の職業選択肢に農業を！

農業女子プロジェクトメンバー ついに**1000名達成**しました！

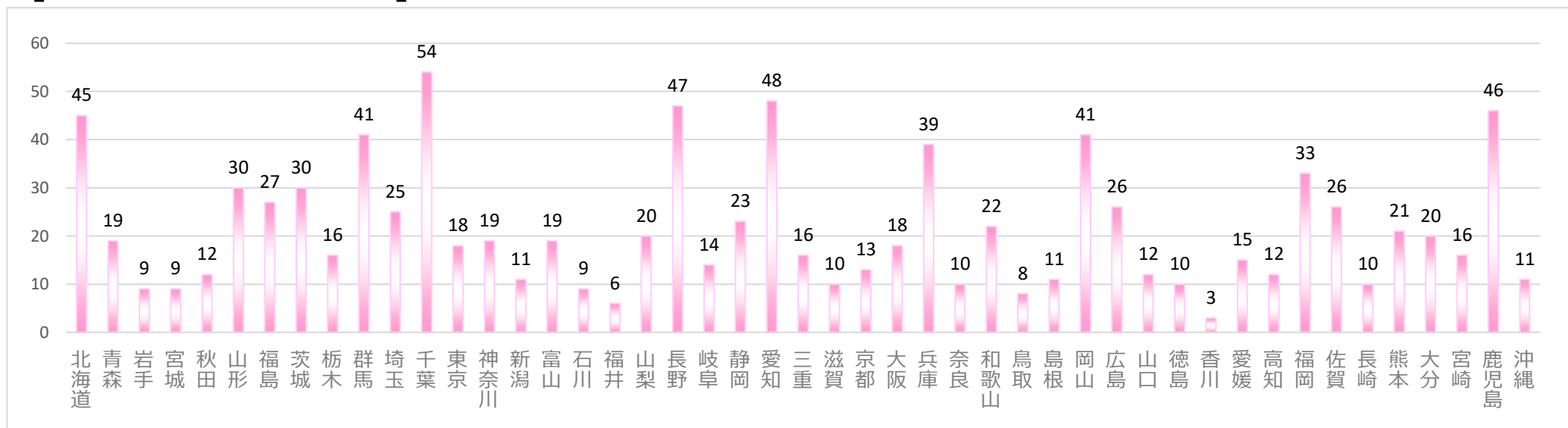
[メンバー数推移]



[メンバー年齢構成]



[都道府県別メンバー数]



農業女子プロジェクト10年間の歩み（第1期～第5期）

- ◆ 2013年11月より始動した「農業女子プロジェクト」は2023年11月に10周年を迎えました！
- ◆ 第1期～5期には、企業プロジェクト、地域グループ、はぐくみ活動等プロジェクトの基盤となる取組が次々と作られました

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2013.11～	2014.11～	2015.11～	2016.11～	2017.11～
主な取組	農業女子PJ始動 ・37名のメンバーでスタート ・企業と連携した「企業プロジェクト」を中心に活動を実施  	地域版グループの登場 ・農業女子PJ初の地域版グループ「岡山農業女子」の結成  	農林水産省イベントへのブース出展等、広報活動を積極化 	「チームはぐくみ」スタート ・教育機関2校が連携し、次世代の女性農業者を育成する活動がスタート 	メンバーの自主的勉強会「農業女子ラボ」の始動  

農業女子プロジェクト10年間の歩み（6期～10期）

- ◆ コロナウィルス感染症による影響が多い中でもメンバー数は増加
- ◆ オンラインでの配信が充実し全国のメンバーの活動参加が容易に

	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	2018.11～	2019.11～	2020.11～	2021.11～	2022.11～
主な取組	農業女子が取り組むSDGsの発信 地域グループ活動の活性化  	★コロナ感染症の拡大 グループ間ネットワークづくりの促進 	オンラインによる会議やセミナー開催の促進 個人のネットワークづくり 	「農業女子アワード2022」開催 「農」の魅力発信への取組 今後のプロジェクトのあり方を検討する「未来につながる会議」を開催 	「NEXTラボ」トライアルの実施 

農業女子プロジェクトの社会への波及効果

- ◆ 農業女子プロジェクトメンバーの意見を取り入れて、女性が使いやすいように開発したものが、標準仕様へと進化

ジェンダードイノベーションとは

<ジェンダードイノベーションとは・・・>

研究・開発のデザインに、積極的に性差分析を組み込むことで、科学技術分野におけるイノベーションと発見を実現しようとするアプローチをジェンダード・イノベーションといいます。（お茶の水大学ジェンダード・イノベーション研究所HP より）

<11月8日放送 NHKクローズアップ現代>

農業女子プロジェクトと井関農機株式会社との商品開発のストーリーがジェンダードイノベーションの事例として紹介されました。



"性の違い"がイノベーションに 病やけがのリスクを減らせ!

初回放送日: 2023年11月7日

今、男女の違いを科学的に分析することで社会を変えようとする「ジェンダードイノベーション」が注目を集めている。医療分野では、男女でなりやすい病気に違いがあることが明らかに。1 自動車業界では、衝突実験を女性や子どものダミー人形で行うなど、事故リスクの低減につなげている。さらには、女性にだけ効く新薬の開発やスポーツシューズの改良まで、誰もが生きやすい社会につながる、性の違いから生まれる変革に迫る。

（出典）NHKクローズアップ現代HP



<井関農機（株）つくば未来事業所での取材の様子>
メンバーの榎本房枝さん（埼玉県）、高橋美千子さん（神奈川県）、吉川文さん（愛知県）が協力

①井関農機株式会社 ★事例発表

きっかけは“農業女子”の声。
みんなに使いやすい耕うん機できました。



農業女子とのコラボ第1弾トラクタ「しろプチ」の商品化を通して、女性目線を織り込んだ農機は、みんなに使いやすい農機ということを改めて実感しました。
農業女子の声をきっかけに、一層から農業者の方まで「みんなに使いやすい」ミニ耕うん機「ちよこプチ」をつくりました

農業女子とのコラボ第1弾トラクタ「しろプチ」の商品化を通じて、女性目線を織り込んだ農機は、みんなに使いやすい農機ということを改めて実感しました。（ちよこプチ発表時のフライヤーより）



PJメンバーの意見を取り入れ、機械操作が不慣れな女性が使いやすいよう、耕うん機等に二次元コードを貼付

現在は標準仕様に
女性が使いやすい＝誰でも使いやすい機能に！

- ◆ 農業女子プロジェクトメンバーの意見を取り入れて、女性が使いやすいように開発したものが、標準仕様へと進化

②農業女子的トイレ

<レンタルのニッケン>

女性が働きやすい環境整備の一つとして、企業プロジェクトとして農業女子的トイレを提案。



女性の働きやすい環境づくりの重要性が認識され、補助事業において支援。



<女性が働きやすい環境整備>



株式会社エスケイサービス
小早川さえ子さん（山口県）



安心して休めるようになり
気兼ねなくトイレや着替えが可能に

③ダイハツ工業株式会社

メンバーの意見を取り入れ、白色が基本だった軽トラックをカラフルに。
UVカットガラス、小物入れ等を充実させ、農業女子パックとして発売。



カラフルな色の展開、UVカットガラス
小物入れは標準装備に！



④カネコ総業株式会社

メンバーの意見を取り入れ、軽くて使いやすくかわいい農具を開発

桜の花型にくりぬいて軽くした「Lacuno桜ショベル」開発



桜の花型にくり抜いてあるため、くっつきやすい粘土質や水気の多い土地でも効率的に作業ができ、長時間の作業時の負担軽減。
男性からの引き合いも！



農業女子プロジェクト10周年を記念して

- ◆ 特設webサイト「わたしたちの未来への種まき」を開設
- ◆ 農の未来を考える1dayイベント開催
- ◆ ショートムービーの制作

10周年記念ロゴ

10th ANNIVERSARY
農業女子PJ



特設webサイト「わたしたちの未来への種まき」

一般の方に「農」を身近に感じてもらうことを目的として10月10日に開設

<コンテンツ>

- 各地の「農業女子に会えるイベント」「農業女子が学べる」イベントを掲載
- 11月25日開催「農」の未来を考える1dayイベント「私たちの未来への種まき」詳細
- 地域取材
- ショートムービー



特設webサイトQRコード



ショートムービー「わたしたちの未来への種まき」

PJメンバーに「農」への想いを撮影した動画や写真を提供いただき、ショートムービーを作成しました！



農の未来を考える1dayイベント 「わたしたちの未来への種まき」開催

一般参加者100名を対象に、料理家の和田明日香さん、インフルエンサーの月野亜衣さんと農業女子メンバーのトークイベントを開催します。

<イベント詳細>

- トークショー
料理家和田明日香さん、インフルエンサー月野亜衣さん
農業女子メンバー高橋七海さん（埼玉県）、迫智子さん（鹿児島県）、MCのクリス智子さん
- 農業女子メンバーの食材をつかった軽食提供
- 農業女子メンバーによる試食&展示
- なりきりフォトブース（モンベル、カネコ総業提供）
- アンケートに答えて「種」をプレゼント



2. 第10期活動について

第10期の活動テーマ及び活動方針

- a. 「NEXTラボ」のトライアル実施
- b. 地域でつなげる場の設定
- c. 「農」の魅力の発信
- d. 企業PJ・教育機関
- e. その他の取り組み

3つの活動方針

1. 「NEXTラボ」のトライアル実施

- ・メンバーのニーズに合った学びやネットワークの構築の場となる「NEXTラボ」を創設
- ・テーマ毎に、“サポーター企業”や農業経験豊かな先輩女子メンバー等から、最新の技術や経験談等を学べる場として設置
- ・10周年となる来年秋から本格実施することとし、10期はトライアル実施

2. 地域でつながる場の設定

- ・農政局と連携して、地域（県・ブロック）段階でメンバーが交流できる場を設定
- ・4Hクラブ、農業大学校、指導農業士等地域の他団体との交流も企画

3. 「農」の魅力の発信

- ・就農相談会における農業女子による相談対応や農業女子PJのPR
- ・食に関心のある都会の女性や高校生等への「農」の魅力の発信



事務局・地方農政局が連携して取組を推進

a. 第10期活動成果 ～「NEXTラボ」のトライアル実施～

- ◆ 2023年6月より「NEXTラボ」のトライアルがスタート、2024年2月まで全7回で実施予定
- ◆ 初年度は農業の基礎的な知識をテーマとしたプログラムを実施

「NEXTラボ」実施内容

農業女子プロジェクトメンバーの学びと交流の場として、企業等によるセミナーとメンバー同士の意見交換会の2部構成で実施しました。

- 継続参加型（Aタイプ）
登録者数53名
- 都度参加型（Bタイプ）を合わせた
延べ申込者数216名
(2023年10月時点)



実施した感想・課題～アンケートより～

【セミナーについて】

■ 評価された点

- ・普段は接点のない企業の担当者、先輩農家、農水省担当者から話を聞いて勉強になった
- ・農業技術や機械操作、メンテナンス等がわかった

■ 改善点

- ・初心者向けでも農業者相手に「それは簡単すぎ」と思った。
- ・後日、観ることができると良いなと思いました。

【意見交換会】

- ・人数が多いと話づらい方もいると思いますのでグループ分けなどした方が参加しやすい

「NEXTラボ」2023年度プログラム

日程	セミナー担当	テーマ	交流会
6/29（木）	農林水産省	みどりの食料システム戦略、スマート農業、輸出等について、農林水産省の若手職員と意見交換	農水省担当者との意見交換
7/12（水）	（株）丸山製作所	噴霧機・刈払機の安全な取扱い	フリートーク
7/28（金）	井関農機（株）	トラクタ・耕うん機の基本メンテナンス（作業前・後の点検項目）	農業委員のお仕事（石井真帆美さん/群馬県）
9/1（金）	（株）三越伊勢丹	最新の売り場動向について	ふるさと納税（石橋正枝さん/千葉県）
9/22（金）	（一財）日本品質保証機構	GAPとわたし～初級編～：日々の作業と国際水準GAP	GAPについて（佐藤ゆきえさん/福島県、大吉枝美さん/鹿児島県）
10/6（金）	日本農薬（株）	農薬を使った作物の安全性について	グループにわかれての交流会
2月予定	井関農機（株）	作業機の装着規格等、装着方法、必要資格・装備について	

b. 第10期活動成果 ～地域でつながる場の設定～

◆ 各地の農政局や県拠点が協力し、メンバーが交流できる場を設定

九州農政局 ★事例発表

9月27日オンライン開催 農業女子会～ランチしながらスキルアップ&トーク～

グループ作りの参考に、九州の地域グループや全国展開のグループの事例を紹介しました。

■第1部：スキルアップ

[CASE 1]

かごしま農業女子プロジェクト
会長の迫智子さんからグループ
の取組を紹介



かごしま農業女子プロジェクト発表

[CASE 2]

アグリバトンプロジェクト
横田祥さんから絵本の読み
聞かせを通じた食育活動への
取組を紹介



アグリバトンプロジェクト発表

■第2部グループトーク

グループにわかれて意見交
換会を実施



農業女子会～ランチしながらスキルアップ&トーク～

近畿農政局（兵庫県拠点）

女性農業者グループ「ひょうごアグリプリンセスの会」とともに、
「食」と「農」の魅力発信に向けた取組を実施しました。

- 兵庫農業女子会（8月9日）
- 食と農の次世代に向けた食育活動&意見交換会
（10月27日関西学院大学・11月17日神戸大学）



北陸農政局

「青年農業者・女性農業者との意見交換会」

○開催日：11月7日（火）

○基調講演：

北陸で活躍している農業経営者の新谷梨恵子さん
（令和5年度農林水産祭 内閣総理大臣賞 受賞者）

○意見交換会：

青年農業者（4Hクラブ員）・女性農業者と「これからの北陸農業を盛り
上げるために」をテーマに意見交換

b. 第10期活動成果 ～地域でつながる場の設定～

- ◆ 農業女子メンバー・地域グループ、企業、はぐくみ校等が複数コラボレーションすることで新たな活動に発展

羽田未来総合研究所×かごしま農業女子プロジェクト×やまがた農業女子ネットワークあぐっと

地域グループによる「和蔵場～Wakuraba～」(羽田空港第2ターミナルビル1階 食の情報発信カフェ)の活用

3月に地域版グループのかごしま女子が出店、その後、やまがた農業女子グループあぐっとを紹介し出店が決定、今後も地域版のグループを中心にリレー形式でつなぐ予定です。

《これまでの出店》

◆かごしま農業女子プロジェクト
2022年12月から計5回出店

◆やまがた農業女子ネットワーク
2023年6月から計3回出店



「和蔵場～Wakuraba～」

『食を通じて日本各地の魅力を伝える』ことをコンセプトとした情報発信型カフェで、サポーターズ企業の株式会社羽田未来総合研究所が運営

東京農業大学×農業女子×瀧定名古屋

「“野菜の色”であなたの(町の)ブランドを作ろう！プロジェクト」

農作物の端材から天然染料を抽出し、染色したファッションアイテムを開発するプロジェクト。東京農業大学、農業女子PJメンバー、名古屋市にある繊維専門商社（瀧定名古屋株式会社）が参加しました。

2023年4月から3回のオンラインミーティングを実施、9月20日に現地研修会を開催しました。



PJメンバー山原裕美さんのさくらベリーズガーデン（三重県）にて開催



「SDGs将来世代創造フォーラム2023」
農業女子PJメンバーの杉山尚美さんと東海農政局が
ブース出展し、取組を紹介（8月23日）

b. 第10期活動成果 ～地域でつながる場の設定～

◆ 企業等の協力により、地域や女性グループの活動をさらに活性化

Happy Farmingいいじゃない福岡 (はぴふあむ)

第5回総会＆ウェザーマップセミナー



3年振りの実開催での総会を実施、メンバー間の情報共有、コミュニケーション促進のため、それぞれが持ち寄った生產品・加工品を展示し、商品の紹介及び近況報告を行いました。午後からは、ウェザーマップのお天気キャスターによるセミナーを開催しました。



総会・セミナーの様子（会場：福岡県拠点）



メンバーの生產品を展示

井関農機株式会社 農業機械取扱セミナー

井関農機（株）の協力により、あきたアグリヴィーナスネットワーク会員や秋田県内の女性農業者を対象に、農業機械の基本的な知識や操作方法、メンテナンスについてのセミナーを実施しました。

11月10日開催
午前：農林業研修センター（セミナー）
午後：有限会社北浦郷（現地研修）



（参考）roughly



全国農業女子交流会＆秋葉原ダイビルマルシェ開催しました。



C. 第10期活動成果 ～「農」の魅力の発信～

- ◆ G7宮崎農業大臣会合への出展や「農業女子アワード2022」の開催により、広く女性農業者の活動を発信
- ◆ 「新農業人フェア」における女性農業者相談ブースの設置

G7宮崎農業大臣会合

宮崎、鹿児島的女子メンバーによるマルシェを再現し、女性農業者の活動について情報発信を行いました。

開催日時：4月21日（金）～4月23日（日）

開催場所：シーガイアコンベンションセンター（宮崎県宮崎市）



出展ブースの様子

■ 協力いただいた参画企業・はぐみ校

- ・ダイハツ工業（マルシェ用軽トラック）
- ・モンベル（PJメンバー着用ウェア）
- ・シャープ（試食提供用スープジャー）
- ・南九州大学（学生ボランティア）



カナダの農業大臣をはじめ、多くの方がブースを訪問、メンバーと交流しました

「農業女子アワード2022」開催

今後の食・農・くらしの活性化に向けた女性農業者及び若者のビジネスアイデアや、年齢、性別などに関わらず個性を活かした農業経営を行っている家族・法人を募集、農業女子メンバーを中心に多くの方からの応募がありました。

- ベストウーマン賞
★辻朋子氏/兵庫県
- ベストグループ賞
TUMMY株式会社/東京都
- ベストユース賞
伊藤佑真氏/京都府
- ベストファミリー賞
★柴崎農園/群馬県
- ベストカンパニー賞
★株式会社ドロップ



2月14日最終審査及び最優秀賞発表

★印：PJメンバー

「新・農業人フェア」女性農業者相談ブース設置

職業の選択肢に農業を加えることを目的として、新規就農者向けのイベント「新・農業人フェア」に女性相談員のブースを出展しました。PJメンバーの齋藤絢子さん（千葉県）、細谷啓子さん（千葉県）が相談員として協力いただきました。

会場：池袋サンシャインシティ
日程：7月15日、9月30日



C. 第10期活動成果 ～「農」の魅力の発信～

◆ 若者への「農」の魅力を伝える「はぐくみ校」の活動

東京家政大学 ★事例発表

ワークライフバランスin農業女子

学生に将来の職業としての農業を考えるきっかけを作ることとして、メンバーの須賀恵美さん（埼玉県）が、農業との関わり方について講演を行いました。後半のワークショップでは、農業の様々な可能性を学ぶため、グループにわかれて農業イベントの企画アイデアを出し合い、発表しました。



PJメンバー須賀恵美さんの講演



農業イベントの企画アイデア発表

山形大学

山形大学農学部、やまがた農業女子ネットワークあぐつと、全国農協観光協会との意見交換会開催

6月19日（月）、山形大学農学部鶴岡キャンパス（山形県鶴岡市）にて、農業女子プロジェクト チーム“はぐくみ”の活動の一環により、山形大学農学部アグリサイエンスコースの学生60名と農業女子プロジェクトによる意見交換会を開催しました。



産業能率大学

学生による収穫体験のInstagram発信

学生がPJメンバーの農場を訪問、収穫等の体験とメンバーへのインタビューを行いInstagramで発信しています。

【これまでの取材先】

- ・川名 桂さん/東京都
- ・菱山まりこさん/東京都（掲載準備中）



（参考）日本工学院専門学校ミュージックカレッジ

北海道での農業体験研修の事前学習（都内、富良野）を農業女子プロジェクトがお手伝いしました。

普段、農業と接しない学生へ農業の大切さを伝えました。



出発前にもセミナーを実施（蒲田校、八王子校）



メンバーの西尾菜緒さん（北海道）の講演（9月3日富良野）

C. 第10期活動成果 ～「農」の魅力の発信～

◆ 「NIPPON FOOD SHIFT FES.東京2023」や体験イベントを通じて、「農」の魅力を発信

食から日本を考える 「NIPPON FOOD SHIFT FES.東京2023」

9月23日（土）・24日（日）に丸の内で開催、全国から7名の女子メンバーがマルシェに参加しました。

出店メンバー

相澤悦子 さん（長野県）、石橋正枝 さん（千葉県）
かわじみきさん（山梨県）、小林由紀子さん（富山県）
下島幸恵さん（長野県）、彦坂由美さん（愛知県）
AGRI BATON PROJECTメンバー
横田祥さん（茨城県）・折笠ルミ子さん（福島県）・田中久美子さん（茨城県）



NIPPON FOOD SHIFT FES.東京2023@丸の内

全国農協観光 体験イベントの開催

農業女子と都市在住の方々との交流を目指し、「農業女子つなぐプロジェクト」の2つのイベントを通じて、都市在住の子ども達へ農業の魅力を伝えました。

- 「職業体験EXPO」（渋谷区）への出展（7月29日）
- 農業体験（テーマ：夏の自由研究）の開催（8月25日）



「職業体験EXPO」（渋谷区）の様子



高橋美千子さん（神奈川県）、
實川真由美さん（千葉県）に
協力いただきました。

實川さんの農園での収穫体験

d. 第10期活動成果 ～参画企業のPJ活動～

◆ 参画企業やサポーターズによる企業プロジェクトの実施

三越銀座店 GINZAステージ出店 ★事例発表

農業女子プロジェクト10周年と連動し、PJメンバーの出店とメンバーの食材を使ったお弁当、糠づけ、おにぎりパン等のコラボ商品を販売しました。三越銀座店では初めての開催となりました。

出店メンバー（日替わり）

三須美智子さん（千葉県）、石橋正枝さん（千葉県）、垣淵浩子さん（和歌山県）、高井綾子さん（徳島県）、實川真由美さん（千葉県）、若松由美恵さん（鹿児島県）、高村瑞穂さん（青森県）

青山からす亭/農業女子コラボ弁当

田端香寿恵さん（大分県）、くわの由美さん（福岡）、下川麻紀さん（奈良県）、片山京子さん（山梨県）

菜香や/糠づけ

片山京子さん（山梨県）、長真弓さん（福岡県）
ベーカリーズキッチンOhana/おにぎりパンほか
辻朋子さん（兵庫県）、山本智美さん（広島県）



初日の出店の様子



農業女子コラボ弁当



メンバーとのコラボによる限定商品

施設園芸.com(サポーターズ)

2022年9月より、農業女子PJと施設園芸.com会員を対象にオンラインセミナーを開催しました。
施設園芸に特化した内容で、企業や専門家を講師にこれまでに10回ほど実施しました。

- ・燃油高騰対策セミナー
- ・肥料低減に役立つセミナー
- ・春の土づくりセミナー
- ・暑さ対策セミナー 等



農業女子PJの立ち上げメンバー取材！農業経営者として成功する秘訣を聞きました【静岡県御前崎市イチゴ生産者：栗本さん】



9月にはメンバーの栗本めぐみさん（静岡県）の記事も掲載

味の素ヘルシーサプライ×おしゃれ農女

愛知県豊橋市のグループ「おしゃれ農女」と一緒に、アミノ酸・核酸を使った「バイオスティミュラント」の勉強会をオンラインで開催しました。



3. 第11期活動方針

3つの活動方針

1. 「NEXTラボ」の本格実施

- ・メンバーのニーズに合わせて、学びと交流の場として「NEXTラボ」を継続
- ・企業、先輩女子メンバー、農水省等から、経営力向上につながる最新の情報や先輩メンバーの経験談等を学べるプログラムを2～3コース程度用意
- ・年度ごとのプログラムとし、2024年4月から計画的に実施

2. 地域活動の活性化

- ・地域段階でメンバーが交流できる場を設定し、地域活動を活性化
- ・地域段階での企業や教育機関等と農業女子メンバーによる企業プロジェクトやはぐくみ活動を促進
- ・全国イベントの地方開催を検討（12期以降の実施予定）

3. 「農」の魅力の発信

- ・就農相談会における農業女子による相談対応を地域へ拡大
- ・食などに関心のある女性や高校生等への「農」の魅力の発信



事務局・地方農政局が連携して取組を推進

<改正点>

■ 第12条に「協力名義使用」に関する項目を追加

(協力名義使用)

第12条 農業女子プロジェクトの協力名義の使用については、農業女子プロジェクトメンバー、参画企業等以外でも使用可能とするが、農業女子プロジェクトの活動推進に寄与するものと事務局が判断した場合に限る。

- 2 協力名義の使用を希望するすべての者は、所定の様式を用いて事前に事務局へ提出することとする。
- 3 農林水産省の後援等名義と農業女子プロジェクトの協力名義の併記は不可とする。

4. 意見交換会

会場出席PJメンバー紹介



榎本 房枝

- ◆さいたま榎本農園
- ◆埼玉県
- ◆大玉トマト・カラフルミニトマト・野菜全般（年間100種類ほど）
- ◆2014年入会



今井 由紀子

- ◆わかばの里
- ◆千葉県
- ◆落花生
- ◆2019年入会



小林 由紀子

- ◆MK農産米工房 Jasmin
- ◆富山県
- ◆米
- ◆2021年入会



稲垣 佳代子

- ◆FruitTableみまき
- ◆長野県
- ◆りんご プルーン
- ◆2023年入会



岡本 尚子

- ◆おかもと農園
- ◆愛知県
- ◆米・次郎柿・野菜
- ◆2016年入会



佐藤 文香

- ◆さっちゃんファーム
- ◆愛知県
- ◆トマト、ナス、ブロッコリー等
- ◆2021年入会



野田 美香子

- ◆mama's農園
- ◆愛知県
- ◆米・麦・大豆
- ◆2017年入会



永井 千春

- ◆"VegeTanaQ（ベジ・タナキュー）"
- ◆愛知県
- ◆ニンジン（へきなん美人®、へきなんにんじん他）タマネギ（へきなんサラダタマネギ他）など
- ◆2014年入会



吉田 菜穂子

- ◆ひなた農園
- ◆三重県
- ◆露地野菜
- ◆2016年入会



三方 美智代

- ◆株式会社ミカタアグリ
- ◆三重県
- ◆ミニトマト等、西洋野菜、伝統野菜、古代野菜
- ◆2021年入会



辻 朋子

- ◆農園若づる
- ◆兵庫県
- ◆水稻
- ◆2021年

◆ 意見交換

- 「NEXTラボ」の取組についてどのような活動を期待しますか？
 - ✓ 参加してみて良かったこと、改善点等がありましたか？
 - ✓ どのようなラボのテーマに興味がありますか？